

第3の柱 生活者視点による暮らしやすさの実現

(4) 普段から災害に
そなえる

①地域の自主防災機能を強化する

- 単位自主防災組織や田人地区自主防災会連絡会が定期的に訓練を実施する。
- わかりやすい防災マップをつくる。
- 災害時要援護者支援体制の整備を図る。

(5) 都市基盤を充実
させる

①デジタル・ディバイドを解消する

- 携帯電話不感地帯の早期解消及びブロードバンド環境の整備を図る。

②豊かな自然環境を保全する

- 広葉樹の植樹及び里山の整備を推進する。
- 防犯カメラや看板を設置し、不法投棄の防止活動を強化する。

③生活道路の整備を推進する

- ふるさと林道延伸をはじめとする生活道路の整備を行政に働きかける。
- 日陰対策を推進し、冬期のスリップ事故を防止する。



田人の祭②入旅人小土神社（旅人字和再松木平）
撮影者：板津 弥吉

《地域振興協議会》

■ 「構想」実現のための実施計画（3カ年計画）策定

構想を具現化するために実施する事業を、向こう3カ年にわたり定める短期計画システムを導入する。

■ 「組織運営」から「組織経営」へ意識の醸成

1. 収益システムの検討・確立
2. 目標の数値化
3. ボランティア事業からビジネス事業へ

■ 組織強化

1. 部会の役割の整理
2. 区長会の諮問機関化
3. 青壮年（～44歳）層の拡充

《行政》

■ 地域振興担当員制度の見直し

地域振興担当員の地域振興業務を、係の業務として位置づけた上で、これまでどおり、地域振興業務を総括・処理する担当職員を配置し、その指揮の下で、弾力的な職員の活用や組織的な対応の強化を図る。

3本の柱	方策内容	タイムスケジュール		
		H21. 4~H24. 3	H24. 4~H31. 3	H31. 4以降
第1の柱 田人の想像力豊かな産業の創造	(1) 新たな地域産業を創造する			
	① “田人の強み”を商品化する	→		
	② 計画的・効率的にイベントを開催する		→	
	③ 地域産業ネットワークを形成・強化する			→
	(2) Iターン者・高齢者向けの雇用を創出する			
	① 高齢者ビジネスを研究し実践する		→	
	② コミュニティ・ビジネスを振興する			→
	③ 本市Iターン施策と連携する			→
	(2) マーケティング戦略・戦術を習得する			
	① マーケティングを基礎から学び、実践するためのノウハウを習得する	→		
② インターネットを徹底的に活用する			→	
③ 他地域（広域・近隣）と連携し、新しい市場を形成する		→		
第2の柱 お互いに顔が見えるまちづくり	(1) 交流人口を増やす			
	① 田人地域振興協議会公式ホームページを充実させる			→
	② グリーンツーリズムやヘルスツーリズムを推進する			→
	(2) 定住人口を増やす			
① Iターン者を積極的に受け入れる			→	

3本の柱	方策内容	タイムスケジュール		
		H21. 4~H24. 3	H24. 4~H31. 3	H31. 4以降
生活者視点による暮らしやすさの実現	(1)元気で長生きする			
	①必要な医療・介護が受けられる			→
	②高齢者を支援する		→	
	③健康づくり活動を推進する			→
	(2)新しい公共交通機関を育てる			
	①あいのりタクシー「たびと号」を継続運行する			→
	(3)自ら学び成長する			
	①公民館を積極的に活用する			→
	②地域における学校のあり方を検討する		→	
	③地域文化を後世へ伝承する			→
	(4)普段から災害にそなえる			
	①地域の自主防災機能を強化する	→		
	(5)都市基盤を充実させる			
	①デジタル・ディバイドを解消する	→		
	②豊かな自然環境を保全する			→
	③生活道路の整備を推進する			→

平成19年	4月25日	田人地域振興協議会において「新・田人交流の里構想」検討委員会設置要綱決議
	8月1日	第1回検討委員会において今後の策定スケジュール確認、第2次構想の検証、3小委員会へグループ分け
	11月29日	第1回生活の質的豊かさの実現小委員会において地域資源・地域課題について討議
平成20年	1月29日	第1回人間関係の豊かさの実現小委員会において小委員会組織・検討事項確認、地域資源・地域課題について討議
	2月12日	第2回生活の質的豊かさの実現小委員会において浜通りスポーツセンターの芦野氏が総合型地域スポーツクラブについて説明
	3月26日	第1回経済的豊かさの実現小委員会において作業全体の流れ及びスケジュール説明
	5月29日	第3回生活の質的豊かさの実現小委員会において地域課題に対する基本戦略及び取り組みの方向性について協議
	6月28日	生活の質的豊かさの実現小委員会において健康づくりの実験的イベントとしてソフトバレーボール体験教室実施
	7月8日	第4回生活の質的豊かさの実現小委員会においてまちづくりの実践及び平成20年度まちづくり懇談会における提案内容について協議
	7月29日	第2回経済的豊かさの実現小委員会において現状・課題の抽出（1回目）
	7月29日	第2回人間関係の豊かさの実現小委員会において地域の問題点を洗い出し
	8月27日	第3回経済的豊かさの実現小委員会において現状・課題の抽出（2回目）
	9月24日	第4回経済的豊かさの実現小委員会において現状・課題の分析
	10月16日	第3回人間関係の豊かさの実現小委員会において地域の問題点の具体的解決策提案、基本目標の整理
平成21年	1月20日	小委員会合同会議において各小委員会の検討内容報告及び今後の策定スケジュールの確認
	1月29日	第2回検討委員会において構想の構成について協議
	2月5日	第3回検討委員会において構想の体系について協議
	2月12日	第4回検討委員会において構想の体系について協議
	2月14日	パブリックコメント実施
	3月5日	第5回検討委員会においてパブリックコメント結果の発表及び今後のスケジュールの確認
	3月12日	田人地区区長会への説明
	3月16日	第6回検討委員会において構想の最終確認及び田人地域振興協議会へ答申
	3月31日	「第3次田人交流の里構想」冊子発行

資 料 編

地 形

市の南部に位置し、南東を勿来地区と北茨城市、西北を鮫川村と古殿町に接している。地勢は一般に急峻で山岳が全体に連なり、起伏が多く、平地は鮫川・荷路夫川・四時川とその支流の流域にあるが、耕地は極めて少ない。春の新緑、秋の紅葉と山菜宝庫の中に「田人おふくろの宿」がある。

歴 史

中世は岩城氏の所領（文禄4年の岩城領検地には、黒田村、旅人村、大平村、高松村の石高記載）。

関ヶ原の戦の後、慶長7年（1602）磐城平藩主に鳥居氏が入封し、当地区（黒田、旅人、大平、貝泊、荷路夫）もその支配下に置かれる。元和8年（1622）窪田藩の成立で土方氏の所領になるが、貞享元年（1684）窪田藩除封廃藩により幕府領になり、窪田代官所の支配に入る。

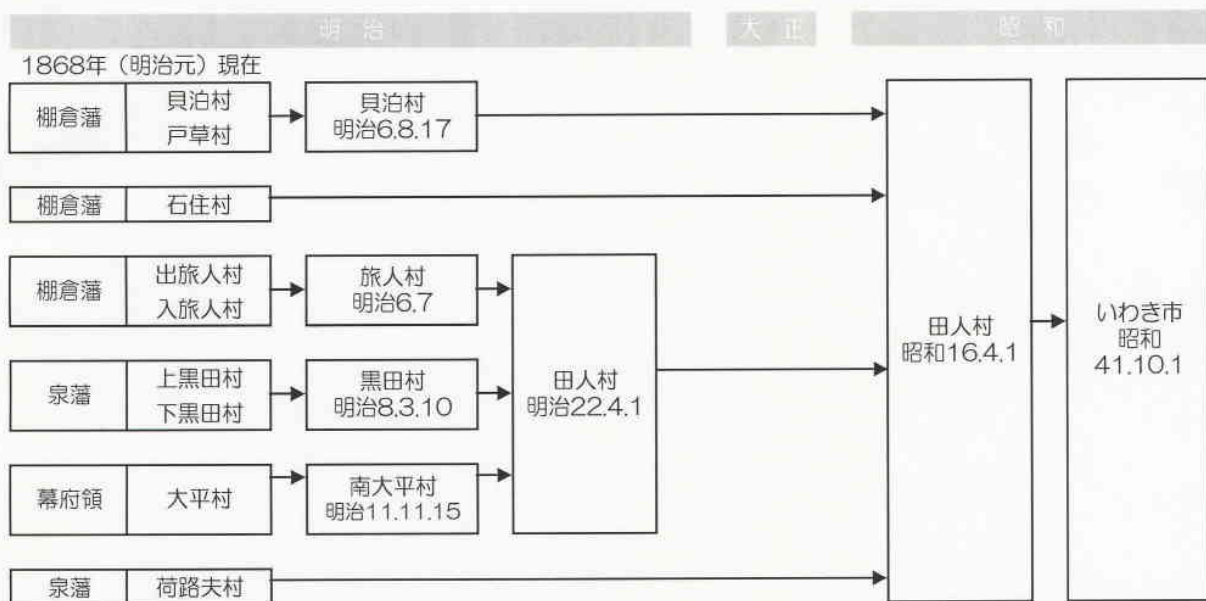
寛保2年（1742）上黒田、旅人、貝泊が棚倉藩領に、延享3年（1746）下黒田、荷路夫が泉藩領に、延享4年（1747）小名浜代官所開設で南大平が支配下に置かれ、それぞれ幕末まで続く。

田人、遠野地区でこんにゃくの栽培が始まったのは、棚倉藩主松平氏の時代（1836～1866）といわれ、明治3年には黒田村の蛭田金四郎が荒こんにゃく製造の普及と販売を始めた。

明治6年入旅人村・出旅人村が合併し旅人村、明治8年上黒田村・下黒田村が合併し黒田村、明治22年町村制実施に伴い、南大平村・旅人村・黒田村が合併し田人村になり、荷路夫村・貝泊村・石住村と共に四ヶ村組合を組織し、各村の財産の管理を除く他一切の公共事務を取り扱う。

（参考文献：「いわき市史」、「新しいいわきの歴史」）

行政区域の変遷



町名別人口・世帯数

町名		'87(S62)	'92(H4)	'97(H9)	'02(H14)	'07(H19)	伸率 '07/'87
南大平	世帯数	41	41	42	37	43	0.05
	人口	165	154	141	135	121	▲0.27
旅人	世帯数	246	242	227	213	205	▲0.17
	人口	975	916	808	726	652	▲0.33
黒田	世帯数	316	316	274	267	246	▲0.22
	人口	1,156	1,081	954	844	740	▲0.36
荷路夫	世帯数	95	86	84	80	90	▲0.05
	人口	374	318	283	248	254	▲0.32
貝泊	世帯数	94	89	79	67	60	▲0.36
	人口	291	253	218	163	159	▲0.45
石住	世帯数	90	90	81	75	69	▲0.23
	人口	290	303	251	223	191	▲0.34
総数	世帯数	882	864	787	739	713	▲0.19
	人口	3,251	3,025	2,655	2,339	2,117	▲0.35

「いわき市統計書」('85(S60)~'07(H19))より

文教施設

(1) 小学校

学校名	所在地	学級数	児童数	教職員数
市立田人第一小学校	田人町黒田字中野12	5	46	11
市立田人第一小学校荷路夫分校	田人町荷路夫字榎町66	2	4	2
市立田人第二小学校	田人町旅人字和再松木平4	3	16	7
市立田人第二小学校南大平分校	田人町南大平字坪内96	2	5	2
市立石住小学校	田人町石住字貝屋37	2	5	3
市立貝泊小学校	田人町貝泊字久子ノ内35	2	5	4
計	6	16	81	29

(2) 中学校

学校名	所在地	学級数	生徒数	教職員数
市立田人中学校	田人町黒田字台1	4	47	11
市立石住中学校	田人町石住字貝屋37	1	4	6
市立貝泊中学校	田人町貝泊字久子ノ内35	2	4	6
計	3	7	55	23

平成20年5月1日現在 「平成20年度 いわき市教育ガイドブック」より

社会福祉施設等

施設の種類	施設名	所在地	定員
保育所（保育園）	田人保育所	田人町黒田字一ノ倉49	60

平成20年5月1日現在「平成20年度いわき市の保健と福祉」より

公民館・集会所

（1）公民館

公民館名	所在地
田人公民館	田人町旅人字下平石191

（2）集会所

公有財産

集会所名	所在地	摘要
井出集会所	田人町貝泊字井出40	協働
綱木集会所	田人町石住字綱木67	協働

協働：市市民協働課所管

地域財産

集会所名	所在地
入旅人集会所	田人町旅人字和再松木平4
南大平集会所	田人町南大平字坪内134-1
出旅人生活改善センター	田人町旅人字下平石137
上黒田集会所	田人町黒田字掛橋57-1
石住多目的集会所	田人町石住字貝屋35
貝泊多目的集会所	田人町貝泊字久子ノ内57
荷路夫多目的集会施設	田人町荷路夫字榎町81-2
間明沢集会所	田人町荷路夫字間明沢59
下川集落センター	田人町黒田字鈴ノ沢8-5
下黒田公民館	田人町黒田字赤仁田乙164
戸草集会所	田人町貝泊字戸草14

警察・消防

施設の種類	警察・消防署名	所在地
駐在所	いわき南警察署田人駐在所	田人町旅人字下平石49
分遣所	勿来消防署田人分遣所	田人町旅人字下平石137-1

文化財

(1) 県指定

種別	名称	所在地
重要文化財	建造物	満照寺不動堂（黒田不動堂） 田人町黒田字別当50
	工芸品	銅製鰐口 田人町黒田字別当50

(2) 市指定

種別	名称	所在地	所有者（管理者）
無形民族文化財	田人の念仏太鼓	田人町	田人の念仏太鼓 保存団体連合会
天然記念物	御斎所山熊野神社社叢	田人町黒田字齊道117	熊野神社

平成20年3月28日現在 いわき市教育委員会文化課 「指定文化財一覧表」より



『懸崖の流れ』（貝泊字中沢）
撮影者：大内 照男

地域づくり団体

団体名／代表名	所在地（住所）	活動目的・内容	会員数
田人地域振興協議会 ／緑川 廣	田人町旅人字下平石191 いわき市田人支所内	田人地区の現状と将来あるべき姿を調査、研究、討論し他地域住民との連携を深め、地域の振興と活性化を図りながら福祉向上の発展に寄与する実践事業を行う。	94名
貝泊コイコイ倶楽部 ／蛭田 廣	田人町貝泊字戸草37	貝泊地域住民の融和と活性化を目的に、森林保全と森林整備を図り、豊かな環境を維持しながら諸事業活動を通じて、地域の一層の活性化に資する取り組みをしている。	60名
旅人広葉樹林を拓げる会 ／緑川 汎	田人町旅人字東中上73-1	植栽した山林を下刈り手入れをし、都市部との交流の場を作るとともに、水資源の確保及び地球環境の保全に寄与する取り組みをしている。	16名
明神里山実行会 ／芳賀 清	中岡町5丁目8-19	地域おこしによる諸活動や森林整備を通じ、地域住民の交流と森林との共生に対する意識の醸成を図っている。	92名
田人地域振興協議会 女性の会 ／小野 美代子	田人町旅人字横根227	女性団体の連携と会員個人の資質の向上に努め、田人地域振興協議会が目指している「田人交流の里」づくりの具現化を支援し、田人地域の振興に寄与する。	47名
田人ぼくからく会 （木花楽） ／蛭田 秀美	田人町旅人字下平石70	田人の自然の中で、四季を通して楽しめる場所の造成と、そこを通して街と田人の交流を図り、田人の自然、良さを大きくアピールしていく場所の提供を行う。	17名

平成20年度市市民協働課、田人支所より

『花に囲まれて』（黒田字鈴ノ沢）
撮影者：佐渡谷 亞夫

地域資源

(1) 自然

- ① 山
仏具山、朝日山、明神山、愛宕山、御斎所山
- ② 川・溪谷
鮫川、四時川、荷路夫川、戸草川溪谷、入旅人川溪谷、四時川溪谷
- ③ 植物・花（市保存樹木）
イロハカエデ（石住字綱木）、シダレザクラ（黒田字一ノ倉）、ヤマザクラ（旅人字横根）、カツラ（旅人字和再松木平）
- ④ 動物
ヤマメ・ウグイ（鮫川水系）

(2) 施設

- ① 観光・文化施設
GALLERY&SHOP 昨明（南大平字川平）
- ② スポーツ・レクリエーション施設
田人市民運動場、田人ふれあい館（屋内運動場）、田人おふくろの宿（テニスコート、屋内運動場）
- ③ 遺跡、史跡、街並み
棚倉藩番所跡（旅人）、根室遺跡・下平石遺跡（縄文土器・土師器・石器）、傾城石（荷路夫）、道標（荷路夫、貝泊）、舟石（荷路夫）

(3) ひと・もの

- ① 伝統芸能
獅子舞（入旅人、出旅人、黒田、石住）、棒術（入旅人、出旅人、黒田）
- ② 工芸品
いわき船筆筥（木のくにやあかつ）
- ③ 特産品
さしみこんにゃく、いちご、いんげん、小松菜、ベビーリーフ、みつば、こんにゃくいも、自然薯（トロ芋）、なめこ、しいたけ、まいたけ、田人まんじゅう（一心堂菓子店）、磨丸太（田人材生産組合）、木炭・竹炭（旅人木炭生産研究会）
- ④ 祭り、行事、イベント、暮らし
8月：黒田不動尊祭典、出旅人薬師尊祭典、南大平不動尊祭典
9月：小土神社例祭（旅人）、湯殿山神社例祭（石住）、田人地区市民体育祭
10月：いわき田人「明神山」ハイキング大会、多祁神社例祭（荷路夫）、田人おふくろの宿まつり、五所神社祭典（南大平）
11月：金比羅神社祭礼（旅人）
12月：熊野法楽（黒田）
通年：田人地区ぶらり朝市、森の駅、山ぼうしの家、間明沢さくらの会、七福神の里（農産物直売所）

役職	氏名
委員長	緑川 廣
副委員長	緑川 隆一
副委員長	蛭田 秀美
副委員長	芳賀 信子

経済的豊かさ の実現小委員会		人間関係の豊かさ の実現小委員会		生活の質的豊かさ の実現小委員会	
リーダー	緑川 博康	リーダー	緑川 博	リーダー	蛭田 秀美
サブリーダー	小野美代子	サブリーダー	佐藤 雄一	サブリーダー	蛭田 康男
サブリーダー	芳賀 清	サブリーダー	蛭田 仁子	サブリーダー	緑川 隆一
委 員	井桁 秀	委 員	板津 堅吉	委 員	大澤 良行
	小野 輝弥		大竹 好美		大津美喜夫
	小野 文喜		大澤 良一		小沢 重好
	櫛田 光博		小野 誠		齋藤 清輝
	国井 重徳		齋藤 勝康		陣野 豊
	齋藤 勇次		多田 浩		円谷 秀夫
	瀬谷 光子		芳賀 信子		蛭田 明人
	豊田 新一		蛭田喜美男		蛭田 廣
	蛭田 一美		廣木 一賀		蛭田 三弥
	蛭田 一		緑川 潔		緑川 一男
	溝井 武政		緑川 汜		緑川 英泰
	緑川 良男		緑川 貢		緑川 泰次
					緑川 美水
					油座 久

※五十音順

事務局 (田人支所)	園部 文司	事務局長
	村木 宏一	事務局次長
	本間 雅雄	人間関係の豊かさの実現小委員会担当
	鈴木 孝典	経済的豊かさの実現小委員会担当
	緑川 智則	生活の質的豊かさの実現小委員会担当

あとかき

第2次田人交流の里構想が、平成20年度で10年間の期間を終えることから、次期構想のため、経済的豊かさの実現小委員会・人間関係の豊かさの実現小委員会・生活の質的豊かさの実現小委員会とこれら三委員会の中で、現況の地域問題を提起しながら、今後10年間の豊かなまちづくりのため、真剣に話し合い、検討し、それぞれの目的意識を持ち、地域が在るから自分で居られ、自分が居るから地域が在るとの想いを真の気持ちとして、この構想を作成することができました。

今後は、この構想を基本として、具体的な取り組みが実行され、地域が心身共に豊かに発展することを希望します。

なお、この構想策定にあたりましては、田人支所ほか関係機関の方々のご協力に厚く感謝いたします。

平成21年3月

経済的豊かさの実現小委員会	リーダー	緑川	博康
人間関係の豊かさの実現小委員会	リーダー	緑川	博
生活の質的豊かさの実現小委員会	リーダー	蛭田	秀美